

# 固定資産税家屋現況調査を実施しています

市では市内の家屋を対象に、現況調査を実施しています。この調査は、固定資産税の家屋課税台帳と現状の家屋を照合し、新築や増築していても未評価になっている家屋、すでに取り壊しになっている家屋などを調査・確認することで、固定資産税の公平・公正な課税を行うためのものです。

調査は市が委託した業者の調査員が行い、市が発行した『身分証明書』を携行しています。公道から外観目視により確認をしながら、市内を巡回します。調査は外観調査のみですので、市が委託した調査員が建物の中に立ち入ることはありません。未評価などにより現地調査が必要な場合は、市が後日改めて通知し現地調査に伺います。

- ・今回の調査で調査費用等が請求されることはありません。
- ・調査の結果、課税対象であることが判明した場合でも、その場で税金の徴収を行うことはありません。
- ・家屋の耐震診断やリフォーム、物品販売など、調査目的以外のお願いをすることは一切ありません。



【問い合わせ先】 税務課 電話42-2111 (内線213)

# こんにちは！地域おこし協力隊です

市に移住し、ヨソモノ・ワカモノの斬新な視点で地域おこしに取り組む隊員たちが、市の魅力や日々の活動などを報告します。

東京から移住し8月で早3カ月が経ちました。冬以外の暮らしにも慣れ、津軽で過ごす初めての夏を満喫しています！お祭りはもちろん、料理好きゆえ美味しい野菜をたくさん食べられることが嬉しいです。野菜を頂くとついおかずをつくりすぎてしまい、タッパーが足りなくなりました。今回は「赤しそ」の話をしようと思います。

東京では赤しそは梅干を仕込む時期にしか出回りません。期間としては3週間程度。梅干とジューズ以外で赤しそを活用している方を聞いたことがありません。ですがこちらに来て、あのフレッシュな赤色をそれだけにしか使わないのももったいなかったと思いました。

まず、関東にはありそうでない「なすのしそ巻き」。(「じさまき」の呼称がポピュラーでしょうか?) 間違いない美味しさ！各家庭で味付けが違



移住担当 宮田 真梨子

の料理、「赤しそレシピ」のWEB検索結果には不思議と出てきません。もっと広まってほしいです。

そして「すしん」。お米が赤い？そして甘い？と初めて食べたときは衝撃でしたが、今や遊びに来る友達みんなに紹介するほど、大好きな見た目と味です。

せっかくなら自分でも何かつくってみたいと思い、「赤しそアイス」を開発しました。といってもレシピ本に載っていた「しそアイス」の青しそを赤しそに変えただけの超簡単レシピです。茎を除いてみじん切りにした赤しそを、柔らかくしたバナナアイスに混ぜて、再冷凍させれば完成。ポイントも赤しそを細かく刻むことです。ミントのような鼻に微かに抜ける香りが新鮮で美味しく食べられますよ(ミントやハーブの多くはシソ科だそうです)。

秋は何に挑戦しようか、今から楽しみです！

【追伸】移住推進の取り組みとして、つがる市移住支援サイト「つがるさかいへ」(QRコード)を更新しています。特に市民インタビューは必見です！ぜひご覧ください。



## 広 告

集団予防接種によりB型肝炎ウイルスに持続感染された方へ 一人で悩まずに無料個別相談会をご利用ください

# B型肝炎

## 給付金について

### 無料個別相談会

- |         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 9/1 (木) | 弘前市民文化交流館 ヒロロスクエア<br>3階 多世代交流室1 |
| 9/2 (金) | 五所川原市民学習情報センター<br>第1教室          |

対象者 昭和16年7月2日～  
昭和63年1月27日 生まれ

※ご遺族の方も給付金請求できます

給付金 50万円～  
3,600万円

※病態に応じて給付金等の内容が異なります

完全予約制 ☎  
0120-013-621  
〈ご予約受付時間〉  
平日 9:00～18:00  
個別相談なので、他の方と顔を合わせることはありません。

弁護士費用 着手金・相談料 無料  
成功報酬制  
※訴訟実費別途

弁護士法人 プレシャス総合法律会計事務所

東京都新宿区四谷4-3 福屋ビル6-A 【営業時間】 平日 9:00～18:00  
TEL 03-5363-6333 E-mail: info@precious-law.jp  
FAX 03-5363-6334 https://precious-law.jp/

無料電話相談も  
同時受付中！お気軽にお電話ください

## つがる市の輝く園児たち

つがる市の皆さんは夏休みを満喫していますか？晴れた天気はありがたいですが、夏の蒸し暑さは大変ですね。熱中症にならないようしっかりと水分補給をして体に気を付けてください！

今回のコラムでは、国際交流員業務の一つとして行っている国際ふれあい事業について書きたいと思います。「ふれあい事業」とは、つがる市内の保育園を訪問して園児たちと交流する事です。子どもの目線からすると、ただ外国人のゲストと一緒に遊ぶことに見えるかもしれませんが、実はこの事業には大事な目的が含まれています。それは、子どもたちの世界観を広げ、国際的な理解を深めることです。

このように書くと、硬く感じるかもしれませんが、同じくらい盛り上がりつつ楽しんでます！日常のデスクワークからの気分転換になる上、可愛い園児たちとお話をして遊んでいると私もテンションが上がります。元々子どもが好きなのは、つがる市の園児たちと会って同じく世界観が広がっていると感じます。子どもの見る目は純粹であり、頭に浮かんでくる事を直接言うので笑える瞬間がたくさんあります。

アメリカと日本の園児を比べると、それぞれの文化の違いが明らかでした。今回訪問した保育園では子どもたちはきちっと正座で座っており、あいさつの時もしっかりお辞儀をして、敬語まで使う文化や敬語がないため、小さな5歳・6歳の日本人の子どもがそこまで丁寧な行動をするのを見て少し驚きました。しかし、子どもはやはり国の文化に関わらず、自分の言いたいことはなんでも口に出す

## オリビア・スナイダー

まず！事前の話に全く関係ないことでも何でも言うので、訪問中に色々面白い話が聞けました。子どもの考え方や想像力は無限です！一人一人個性があって、皆の性格を知ることがとても面白かったです。

日本では今なお外国人向けの差別があるように思われます。別の国から来た人に違和感を覚える考え方が存在します。世界的に見れば、このような考え方は時代遅れだと思われそうですが、その考え方を持つ人の意見はそう簡単には変えられません。そのため、小さい頃から外国人や外国語と関わり、「外国人は怖くない」話し合えば新しいことが学べる」等の考え方をつがる市の園児たちにも覚えてもらえたら嬉しいですね。

どの保育園でも子どもたちは礼儀正しくて、私の絵本の読み聞かせをしつかり聞いてくれ、一緒にクラフトを作ったりゲームをし、とてもにぎやかで楽しい時間を過ごせました。色々とサポートしてくださった保育園の先生たちにも感謝しています。市内の子どもたちにも会い、

「つがる市の未来は明るい！」と思いたいです。これから先の保育園訪問も楽しみにしています！



かしわあつがるこども園の園児たちと一緒に

## きづくり今昔③ 千代町・旧警察署

現在の旧つがる警察署の丁字路近く、バス停の前から商店街を撮影した写真です。この場所の左手には、明治25年(1892)から大正6年(1917)まで木造尋常小学校(現在の向陽小学校)の校舎があり、明治35年(1902)の移転後は木造町役場として使用されていました。

昭和9年の写真の右手に写る、金木の斜陽館を思わせる入母屋造りの建物は、木造両盛銀行の頭取で明治時代に衆議院議員を務めた市田兵七氏の邸宅です。通り沿いにはモダンな

デザインの街灯が整備されており、近代的な商店街づくりが進められていたことが分かります。

この風景が撮影された10年後、小説『津軽』執筆のために木造を訪れた太宰治は、写真の長いコモヒ(こみせ)を通して奥に位置するM薬品問屋へ立ち寄りしました。太宰が歩いた「コモヒの町」の面影は、現在も街のところどころに残されています。(執筆者：文化財課 小林和樹学芸員)

古写真出典：『青森県立木造中學校 第四回卒業記念帖』1935年3月発行(木造高等学校所蔵)



昭和9(1934)年撮影



令和4(2022)年撮影